

# 海のおばあさん

小川未明

青空文庫



おおむかし  
大昔のことでありました。海のおばあさんといつて、たいそう気むずかしやで、すこしのことに腹を立てるおそろしいおばあさんが海の中に住んでいました。だれもあまり近寄りませんでしたから、おばあさんは、さびしかったのです。

ちようど、そのころ、山に、また山のおばさんといつて、やさしいおばさんが住んでいました。だれにでもしんせつで、気にならないことがあつても、笑つているといふふうでしたから、小鳥たちや、空を飛ぶ雲でさえ、おばさんを慕つて、  
「おばさん、きようはいいお天気ですが、ご機嫌はいかがですか？」と、いつて、寄つてきました。いつも、おばさんは、楽しか

つたのです。

あるとき、海のおばあさんは、風を使いなたて、

「私は独りぼっちでさびしいから、どうぞお話にいらしてください。」と、山のおばあさんのところへ行ってきました。

「それはお気の毒のことだ、さつそく行ってあげましょう。」と、

果物をたくさん入れて、お土産にして海のおばあさんのところを訪ねました。

「よく、きてくれました。」と、おばあさんは出迎えました。

「これは、山で取れましたものですが、どうぞめしあがってください。」と、おばあさんは、ざるに入れた土産を出しますと、おば

さい。

「これは、山で取れましたものですが、どうぞめしあがってください。」と、おばあさんは、ざるに入れた土産を出しますと、おば

さい。」と、おばあさんは、ざるに入れた土産を出しますと、おば

さい。」と、おばあさんは、ざるに入れた土産を出しますと、おば

あさんは、

「これは、これは。」といって、まだ見たことのないものばかりなので、喜びました。

いろいろお話を<sup>はなし</sup>して、おばさんが帰るときにおばあさんは、魚と貝<sup>かい</sup>を取り出して、

「これはすこしばかりだが、海<sup>うみ</sup>のものだから持つて帰<sup>かえ</sup>つてくださ<sup>い</sup>い。」と、いいました。おばさんは、お礼<sup>れい</sup>を申<sup>もう</sup>して、さて、魚<sup>さかな</sup>と貝<sup>かい</sup>をなんに入れて<sup>い</sup>いたらいいものかと考<sup>かん</sup>えましたが、なににもな<sup>か</sup>つたので、

「おばあさん、すみませんが、そのざるをお貸<sup>か</sup>しください。」と、いって、自分<sup>じぶん</sup>の土産<sup>みやげ</sup>を入れてきたざるを借<sup>か</sup>りて帰<sup>かえ</sup>りました。

山のおばあさんは、ぎるのことなど忘れてしまいましたが、海のおばあさんは、いつまでたつてもおばあさんが、ぎるを返さないの腹を立てていました。このことを、風に相談しましたが、風もあまり海のおばあさんが、やかましすぎると思つたので、聞きなが流してしまいました。

それからというもの、おばあさんの心が海に残つていて、いまにも、浜辺へ打ち寄せる波の音が、

「ぎるかえせ——、ぎるかえせ——。」と、なりつづけているのであります。







# 青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 11」講談社

1977（昭和52）年9月10日第1刷発行

1983（昭和58）年1月19日第5刷発行

底本の親本：「ドラネコと烏」岡村商店

1936（昭和11）年12月

※表題は底本では、「海《うみ》のおばあさん」となっています。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：酒井裕二

2016年6月10日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 海のおばあさん

小川未明

2020年 7月13日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>